

## 【次ページから】

### 証明書類として自宅外通学申請に利用いただける各種様式

を掲載しています。

自宅外通学申請時の証明書類として、必要に応じて利用いただける各種様式を準備しています。各様式は機構の審査項目を網羅していますので、賃貸借契約書以外にも証明書類が必要な場合は各種記入例を参照のうえ、ぜひご活用ください。

#### 1 給付様式35-①賃貸借契約証明書(個人間)兼居住証明書

##### 【利用目的】

- ・賃貸借契約書そのものの代用とする。  
例：賃貸借契約書を紛失してしまった
- ・賃貸借契約書に相当する「居住証明書」として、賃貸借契約書の記載内容を補完する。  
例：生計維持者が契約したものの、賃貸借契約書にて奨学生の入居が確認できない  
例：契約期間を更新したものの、更新書類を紛失してしまった
- ・「個人間契約書」として、個人間で結んだ取り決めに具現化する。  
例：知人宅・親戚宅を月額賃料を支払って間借りしている

#### 2 給付様式35-②支払実績証明書

##### 【利用目的】

- ・領収書の代用として、奨学生または生計維持者の家賃負担を証明する。  
例：借主である兄（第三者）に母（生計維持者）が毎月家賃を支払っている
- ・賃貸借契約書上の契約期間を過ぎてなお、更新して住み続けている事実を証明する。  
例：契約期間を更新したものの、更新書類を紛失してしまった

#### 3 給付様式35-③入寮(入所)証明書

##### 【利用目的】

- ・学校寮や自立支援施設への入寮・入所証明とする。  
例：学校の在寮証明ひな型では機構の審査項目を網羅していない

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

## 賃貸借契約証明書（個人間） 兼居住証明書

所在地：

物件名：

契約者：

※ 居住証明書として使用する場合は、賃貸借契約書上の借主を記載してください。  
知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は、家主と契約を行った人物を記載してください。

入居者：

契約期間：

始期：西暦

年

月

日

終期：西暦

年

月

日

賃料：

円／月

特記事項：

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合  
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。

上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および  
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

西暦

年

月

日

貸主：

印

※ 賃貸借契約書上の貸主（知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は家主）  
が証明して下さい。

住所：

連絡先電話番号：

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

居住証明書  
として使用する場合

# 賃貸借契約証明書（個人間） 兼居住証明書

① 所在地：	東京都目黒区駒場4-5-29	<b>【記入上の注意】</b> ① 賃貸借契約書記載の所在地・物件名を記入してください。 ② 賃貸借契約書記載の借主（賃借人）氏名を記入してください。 ③ 当該物件に実際に入居している方の氏名を記入してください。 ④ 賃貸借契約書記載の契約期間を記入してください。賃貸借契約書の契約期間外の証明として使用する場合は、給付始期を含め元々の契約期間の始期から更新後の契約期間の終期までを記入してください。 ⑤ 賃貸借契約書記載の家賃を記入してください。
① 物件名：	駒場マンション3階301号	
② 契約者：	育英 太郎	

※ 居住証明書として使用する場合は、賃貸借契約書上の借主を記載してください。  
知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は、家主と契約を行った人物を記載してください。

③ 入居者： 育英 友

④ 契約期間：

始期：西暦	2026	年	4	月	1	日
終期：西暦	2028	年	3	月	31	日

⑤ 賃料：	30,000	⑥ その他の記入例 元々は生計維持者と同居していて、契約途中から生計維持者のみ転居した等で自宅外要件を満たした場合「2026年7月より入居者は上記1名である」など
-------	--------	--

⑥ 特記事項： 契約期間始期より上記入居者のみが入居している。

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合  
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。

上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および

当該物件に入居者が入居していることを証明します。

⑦ 賃貸借契約書に記載されている貸主、管理会社又は仲介業者が証明してください。不動産業者が変更されている場合、その変更が分かる書類（通知文書やHP掲載内容の印刷物等）と併せて提出してください。  
⑧ 押印必須です。

西暦 2026 年 4 月 5 日

⑦ 貸主： 株式会社 支援機構不動産  
代表取締役 奨学 一郎

⑧ 印

※ 賃貸借契約書上の貸主（知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は家主）が証明して下さい。

住所： 東京都江東区青海2-2-1

連絡先電話番号： 03-2222-2222

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

個人間契約書  
として使用する場合

# 賃貸借契約証明書（個人間） 兼居住証明書

① 所在地： 東京都目黒区駒場4-5-29

① 物件名： 駒場マンション3階301号

② 契約者： 育英 花子

【記入上の注意】  
① 個人間契約を交わした物件の所在地・物件名を記入してください。物件名がない場合は空欄で構いません。  
② 個人間契約の借主の氏名を記入してください。  
③ 当該物件に実際に入居している方の氏名を記入してください。  
④ 貸主(家主)との間で契約した賃貸借契約期間を記入してください。  
⑤ 貸主(家主)との間で契約した月額賃料を記入してください。

※ 居住証明書として使用する場合は、賃貸借契約書上の借主を記載してください。  
知人宅を間借りしている等で賃貸借契約書が発行されない場合は、家主と契約を行った人物を記載してください。

③ 入居者： 育英 友

④ 契約期間： 始期：西暦 2026 年 4 月 1 日  
終期：西暦 2028 年 3 月 31 日

⑤ 賃料： 30,000 円/月

特記事項：

※ 生計維持者と奨学生本人の別居を証明するために作成する場合  
①いつから、②奨学生本人が生計維持者とは別居であるのかの2点がわかるように特記事項に記載してください。

上記の契約者が私（貸主）と賃貸借契約を締結していること、および  
当該物件に入居者が入居していることを証明します。

⑥貸主(家主)が証明してください。  
⑦押印必須です。

西暦 2026 年 4 月 5 日

⑥ 貸主： 奨学 太郎 ⑦ 印

※ 賃貸借契約書上の貸主（持家へ間借をしている等、賃貸借契約書が発行されない場合は家主）が証明して下さい。

住所： 東京都江東区青海2-2-1

連絡先電話番号： 03-2222-2222

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

## 支払実績証明書

下記のとおり、賃借人等から賃貸人等に対し、賃料等の支払いが行われたことを証明します。  
 なお、本証明書は給付奨学生が「自宅外通学」における証明書として奨学生本人又は生計維持者による奨学生の居住にかかる家賃支払いを証明することを目的として作成したものです。

物件所在地 (物件名)						
入居者						
家賃支払いが行われた月及び賃料等	支払いが行われた年月日※		西暦	年	月	日
			(	年	月分	)
家賃等		円/月 (税込)	共益費 管理費		円/月 (税込)	

※ 本用紙のみでは、契約内容の記載がないため自宅外証明書類とはなりません。賃貸借契約書の写しと併せてご利用ください。

また、**居住証明書として使用することも出来ません**ので、申請に居住証明書が必要な際には別途居住を証明できるものをご提出ください。

※ 本人又は生計維持者が本人居住にかかる家賃を支払っている証明書として使用する(対象区分CもしくはDで申請する)場合:

**自宅外通学となった年月日(給付始期以前から自宅外通学の場合は給付始期)**を記入してください。

※ 継続して現在も居住していることを証明するために使用する(対象区分Fで申請する)場合:

**給付始期以降かつ給付様式35右上の「学校への提出日」時点で支払が行われた直近の年月日**を記入してください。

【賃貸人等(家賃を受け取った人) 自署又は記名・押印 欄】

西暦  年  月  日

住 所:

会社名又は名称:

代表者職・氏名:

印

電 話 番 号:

【賃借人等(家賃を支払った人) 自署 欄】

※本人又は生計維持者

西暦  年  月  日

住 所:

氏 名:

電 話 番 号:

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対するものです。

オレンジ色の欄については、入力による作成が可能です。

## 支払実績

下記のとおり、賃借人等から賃貸人等に対し、賃料等の支払実績を記入してください。  
 なお、本証明書は給付奨学金が「自宅外通学」における通学を目的とする奨学生の居住にかかる家賃支払いを証明することを目的としています。

### 【記入上の注意】

- ① 賃貸借契約書記載の所在地・物件名を記入してください。
- ② 賃貸借契約書記載の物件に実際に入居している方の氏名を記入してください。
- ③ 支払いが行われた年月日が何月分の家賃であるか記入してください。
- ④ 支払った家賃の金額を記入してください。
- ⑤ 支払った共益費・管理費の金額を記入してください。

物件所在地 (物件名)	東京都目黒区駒場4-5-29 駒場マンション3階301				
入居者	育英 友				
家賃支払いが行われた月及び賃料等	支払いが行われた年月日※		西暦	2026	年 4 月 2 日
			(	2026	年 4 月分 )
	家賃等	35,000	円/月 (税込)	共益費 管理費	3,000 円/月 (税込)

※ 本用紙のみでは、契約内容の記載がないため自宅外証明書類とはなりません。賃貸借契約書等の写しと併せてご利用ください。  
 また、**居住証明書として使用することも出来ません**ので、申請に居住証明書が必要な際には別途居住を証明できるものをご提出ください。  
 ※ 本人又は生計維持者が本人居住にかかる家賃を支払っている証明書として使用する（対象区分CもしくはDで申請する）場合：  
自宅外通学となった年月日（給付始期以前から自宅外通学の場合は給付始期）を記入してください。  
 ※ 継続して現在も居住していることを証明するために使用する（対象区分Fで申請する）場合：  
給付始期以降かつ給付様式35右上の「学校への提出日」時点で支払が行われた直近の年月日を記入してください。

### ⑥ 【賃貸人等（家賃を受け取った人） 自署又は記名・押印 欄】

西暦 2026 年 4 月 5 日

住 所： 東京都 江東区 青海 2-2-1

会社名又は名称：

代表者職・氏名： 奨学 一郎

電 話 番 号： 03-2222-2222

⑥ 【賃貸人等（家賃を受け取った人）】として自署・押印するのは以下の者です。

・ **貸主又は不動産業者**：本人または生計維持者が貸主又は不動産業者に直接家賃を支払っている場合。

・ **賃貸借契約書上の借主**：本人又は生計維持者以外の第三者が借主であり、借主に対して家賃を支払っている場合。

### ⑦ 【賃借人等（家賃を支払った人） 自署 欄】

※本人又は生計維持者

西暦 2026 年 4 月 5 日

住 所： 東京都目黒区駒場4-5-29 駒場マンション3階301

氏 名： 育英 友

電 話 番 号： 090-3333-3333

⑦ 【賃借人等（家賃を支払った人）】として自署するのは奨学生本人又は生計維持者です。

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

## 入寮（入所）証明書

入寮（入所）者氏名：

寮（施設）所在地：

寮（施設）名及び号室：

寮費、費用等（部屋代含む） ※1：

円／月（税込）

入寮（入所）期間：

西暦

年

月

日

～

年

月

日

寮費等発生月：

西暦

年

月

※2

特記事項：

※ 入寮義務がある場合、その旨特記事項欄に記入の上、入寮義務があることを証明できる書類の提出が必要です。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

<証明者> ※3

西暦

年

月

日

※ 給付始期以降（採用後に入寮（入所）した場合は、入寮（入所）日以降）の日付をご記入ください。

住 所：

学校名・機関名：

※ 留学先の寮に入る場合は、右記「（交換）留学先」のチェックボックスにチェックして下さい。

（交換）留学先

※学校の部活動等が運営をしている寮の場合は、当該部等の代表者（監督・顧問又は学校の事務担当者）が証明して下さい。

担当部署名  
担当職員（社員）名：

電 話 番 号：

### 【使用上の注意点】

※1 寮費、費用等に部屋代が含まれていない場合は、自宅外通学は認められません。

※2 自宅外月額額は寮費等発生月以降となります。入寮（入所）月ではありません。

※3 本入寮（入所）証明書につきましては、以下の通り記載及び証明をお願いします。

- ・学校（留学先含む）の寮に入寮している場合：学校の担当部署
- ・NPO法人等による学生寮に入寮している場合：運営団体又は管理会社の代表者（又は担当者）
- ・自立援助ホーム等に入所している場合：当該ホームを管理・運営している機関の代表者（又は担当者）

日本学生支援機構提出用

※ご記入いただいた情報は給付奨学金の自宅外通学申請に対する審査のみに使用します。

オレンジ色の欄については、入力による作成も可能です。

## 入寮（入所）証明書

①	入寮（入所）者氏名：	育英 友													
②	寮（施設）所在地：	東京都目黒区駒場4-5-29													
③	寮（施設）名及び号室：	機構大学学生寮301号													
④	寮費、費用等（部屋代含む） ※1：	50,000		円／月（税込）											
⑤	入寮（入所）期間：	西暦	2026	年	4	月	10	日	～	2028	年	3	月	31	日
⑥	寮費等発生月：	西暦	2026	年	4	月	※2								
特記事項：															

- ① 入寮（入所）している方の氏名を記入してください。
- ② 寮（施設）の所在地を記入してください。
- ③ 寮（施設名）及び部屋番号を記入してください。  
※上記②、③は給付様式35の「自宅外住所」と同じであることを確認してください。
- ④ 部屋代込みの寮費を記入してください。
- ⑤ 入寮（入所）日を記入してください。給付様式35の「自宅外への入居日」と同じであることを確認してください。
- ⑥ 寮費発生年月を記入してください。  
※支払年月・口座振替年月ではありません。

※ 入寮義務がある場合、その旨特記事項欄に記入の上、入寮義務があることを証明できる書類の提出が必要です。

上記記載のとおり相違ないことを証明します。

<証明者> ※3

西暦 2026 年 4 月 10 日

※ 給付始期以降（採用後に入寮（入所）した場合は、入寮（入所）日以降）の日付をご記入ください。

住 所： 東京都新宿区市谷本村町10-7

⑦ 本様式記載の【使用上の注意点】※3に記載されたいずれかの方による証明であることを確認してください。

⑦ 学校名・機関名： 日本学生支援機構大学

※ 留学先の寮に入る場合は、右記「（交換）留学先」のチェックボックスにチェックして下さい。 （交換）留学先

※学校の部活動等が運営をしている寮の場合は、当該部等の代表者（監督・顧問又は学校の事務担当者）が証明して下さい。

担当部署名 学生センター  
担当職員（社員）名：

電 話 番 号： 03 - 1111 - 1111

### 【使用上の注意点】

※1 寮費、費用等に部屋代が含まれていない場合は、自宅外通学は認められません。

※2 自宅外月額は寮費等発生月以降となります。入寮（入所）月ではありません。

※3 本入寮（入所）証明書につきましては、以下の通り記載及び証明をお願いします。

- ・学校（留学先含む）の寮に入寮している場合：学校の担当部署
- ・NPO法人等による学生寮に入寮している場合：運営団体又は管理会社の代表者（又は担当者）
- ・自立援助ホーム等に入所している場合：当該ホームを管理・運営している機関の代表者（又は担当者）